

26日 3月 2017

## 白根高校での防災教育実践について



新潟県立白根高校でH28年度防災教育の実践を行いました。

白根高校では、自分の地域を知り、地域の声を聞きながら、高校生の自分たちにできるこ

とを考えてきました。

もし、学校が避難所になつたらどうなるだろう。

毎日通っている学校をよく知っているのは自分たち。

HUGをしながら、もし、学校が避難所になつた場合に自分たちにできることを考え、最後に地域の方から、高校生に期待しているという声をいただきました。

真剣に、自分たちが生活する地域のことを考えている姿に感動しました。

これからもがんばれ！白根高校(^^)/

### 実施概要

日 時：①平成29年1月27日（金）13：00～14：30  
②平成29年2月28日（火）13：30～15：00

会 場：新潟県立白根高等学校 体育館

参加生徒数：①102名（第3学年）  
②181名（第2学年102名及び第1学年79名）



カテゴリ：新着, 学校関係者, 避難所, 活動紹介2016

08日 2月 2018

## 【防災玉手箱】巻物の活用について



楽しく活用していただいているようです。

大雪の中、お時間を取りていただき、たくさんアドバイスをいただきました。  
新組小学校さんありがとうございました。

カテゴリ：学校関係者, 玉手箱, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

**NPO法人ふるさと未来創造堂**

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39



24日 10月 2017

## 【防災玉手箱】川口小学校



長岡市立川口小学校では、10月10日～24日に防災週間（地震・津波について学ぶ）が実施されました。

その中で防災玉手箱の講師を活用し、以下の講座を行いました。

講師：中野雅嗣 語り部：吉原昌隆

①平成29年10月10日 全校防災講座（始業式後に15分間）

中越大震災時の川口地区の様子をインター形式で東川口在住の吉原昌隆さんより、「家族、友達、地域で力を合わせて乗り越えたこと」を中心にお話していただきました。

②平成29年10月20日

中学年防災講座（2限）

「地震被害を軽減するためにできること、津波からの逃げ方」

地震後に津波が来ることを知り、津波からの逃げ方のポイントを説明。

次に地震の被害軽減について、家具の固定をしていなかった場合としていた場合の実験映像から家具固定の大切さを確認しました。



川口小学校でもみんなを守るために、家具固定をしている事を実際の写真とともに伝え、実際の家具固定の道具を見せながら使い方の説明し、自宅に帰ったら家族と家の中の危険と家具固定について話し合うよう伝えました。

校長先生からも、中越地震の時に実際に行った家具固定の工夫をお話していただき、みんな真剣に聞いていました。

③平成29年10月20日

低学年防災講座（3限）

「地震からの身の守り方を考える（学校外）、津波からの逃げ方」

地震の被害写真や映像を見て、危険から自分の身を守るために「3つのない場所」（物が落ちてこない、倒れてこない、動いてこない）から身を守ることが大切なことを伝えました。



④平成29年10月24日

高学年防災講座（1限）

中越大震災や阪神淡路大震災の写真資料を見て、地震の被害について確認しました。

その後、ワークシートを使って「夕方自宅で1人。テレビを見ていたら緊急地震速報が流れた。その時どのように行動しますか。」について考えました。

①速報が聞こえた時②強い揺れが発生、ゆれている時③ゆれが収まったら④家族とあうために

の4つについて、個人で考え、全体で共有しました。

そして、吉原さんからそれぞれの意見にアドバイス、身を守り方や家族と会うために日頃から相談することの大切さを伝えてもらいました。最後に新聞紙スリッパ作りを行いました。



中越大震災を経験した新潟県ですが、今の小学生は地震を知りません。

少しでもわかりやすく、そして自分事として防災について考えられるよう活動をしていきたいと思います。

カテゴリ：学校関係者, 玉手箱, 地震, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

**NPO法人ふるさと未来創造堂**

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



など地域の方から説明いただきました。



01日 11月 2017

## 【防災玉手箱】長岡市立西中学校3年生総合授業



長岡市立西中学校にて、総合授業で防災コースを選択した生徒の授業をサポートさせていただきました。

相談の中で、先生の「地域ともっと関わってほしい」という想いを受け、地域の方に声かけをし、集まつていただくことができました。

今回参加してくださった地域の方は2日間で8名。

学区内の、民生児童委員、コミュニティセ

ンター長、町内会長、地区社会福祉協議会会長、元消防士、元行政職員等、様々な職種の方にご協力いただきました。

本当にありがとうございました。内容は以下の通りです。

### ①9月7日（木）1～2限 避難所運営ゲーム体験

まずは、授業前に地域の方に流れの説明、生徒への声かけのポイント、

伝えてほしいこと等を説明しました。

そして、避難所についての説明を地域の方（地域の防災士 宮下貞昌さん、丸山隆さん）

からしていただいた後、各グループに1人地域の方に入ってもらい、

避難所運営ゲームと一緒に体験しました。

その後、体験しての気づきや感想を共有し、各グループで災害が起きた時に「自分たちにできること」を考えました。

どんな時に開設されるのか？

どんな人がくるのか？

どんな困りごとがあるのか？



地域の方から助言をいただきながら、一番良い方法を相談しながら自分たちで決めていました。



### ②9月14日（木）1～2限 地域の方へのインタビュー

前回最後に話し合った「自分たちにできること」を地域の方に発表し、地域の方からその感想を聞き、最後に地域の方から中学生へのメッセージを伝えいただきました。

「地域ではこんな準備をしているんだよ」「地域の方や高齢者に声かけをするときは、大丈夫ですか？」とかではなく、具体的に声かけをしてあげると良いと思うよ」「避難所で

は『がんばりすぎないこと』」「中学生も地域の一員」など  
様々なお話を聞くことができました。

その後、再度「地域に求められていること、かつ自分たちにできること」をグループで話し合いました。



③9月21日(木) これまでの学習を通して西中学校では、最後にこれまでの活動を新聞にまとめることになっています。  
これまでの学習を通して、まとめたいテーマを決め、その中からさらに調べ活動を数時間行いました。

21日テーマを決め、9月28日、10月19日と調

べ活動を行いました。

調べ活動では、元消防士の栗林弘一さんに再度お話を聞きたい、救助グッズを見せてほしいとの生徒の要望があり、再度来ていただきました。他にも防災士の丸山隆さんから身近な防災グ

ツズを紹介していただいたり、PC室でインターネット検索をしたりと様々な調べ活動を行いました。

話をしている時に、「でも、みんながもう西中の中では一番防災について詳しいんじゃない？リーダーだよね」というと、

「うんうん」とうなづき、「もっと地域の人にも、こどもたちにも伝えたいよね」という言葉が返ってきました。

どんなまとめになるか楽しみにしながら、また西中のみなさんに会いにいきたいなあと思っています。

カテゴリ：学校関係者, 玉手箱, 避難所, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

## NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー



20日 8月 2017

## 【防災玉手箱】長岡市立西中学校の総合授業について

長岡市立西中学校では、3年生の総合の授業で様々なテーマに分かれて活動をしています。

その中で「防災」を選んだ生徒の活動をふるさと未来創造堂ではサポートしています。

地域ともっと関わわりたいという先生の願いを受け、西中学校学区の日越小学校で防災について活動をされている地域の方をご紹介しました。

そして6月に防災倉庫の案内と毛布担架作り、発電機の使い方、など地域の方から教えていただきました。その際、防災倉庫に歩いていく間に地域の中に危険なところや役に立つところがないかを確認しながら向かいました。



後日、その日の振り返りとグループワークを実施した時の様子です。



非常用持ち出し品を備えておくことや、防災リーダーを育てておく、避難経路を事前に確認するなど様々な意見が出ていました。



中越地震の時の避難所の様子を少しお話させていただきました。

次回は9月、地域の町内会長さんや、民生児童委員さん、コミュニティーセンター長さん、防災安全士さんなどの様々な立場の方に来ていただき、避難所運営ゲームHUGを体験します。

地域との交流を通じて、子どもたちがどんなことに気付き、考え、生かしていくのか今後が楽しみです。

カテゴリ : 学校関係者, 玉手箱, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

## NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー



17日 5月 2017

### 防災教育関連施設見学+防災教育の打合せを行いました。



日時 : 平成29年5月7日 (日)

対象 : 魚沼市立六日町小学校 第6学年の先生2名

会場 : おぢや震災ミュージアムそなえ館

魚沼市立六日町小学校の第6学年先生2名と今年度の防災教育の計画についてお打合せを行いました。

せっかくの休日ですから、今後に役立てばと、おぢや震災ミュージアムそなえ館の視察とセットでお打合せを設定させていただきました。

そなえ館さん、ご協力いただきありがとうございました。

視察後、子どもの実態や防災教育を通じてどのような力を育みたいか等を伺い、その実現に向けた計画を話し合いました。

ふるさと未来創造堂としても、まずは6月15日（木）のオープンスクール時に外部講師として関わらせていただくことに！

子どもたちが自然災害を自分事としてとらえ、自分たちにできることを考えていく。

その先にある、よりよい地域の未来創出につなげたいという思いに共感！

サポートさせていただきます！

六日町小学校の先生方のあつい思いに触れ、新しい出会いにまた“ワクワク”した1日になりました。

カテゴリ : 学校関係者, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

## NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39



18日 5月 2017

## 新発田市防災キャンプ事前研修会をサポートしました



新発田市防災キャンプ事前研修会  
日程：平成29年5月15日(月)・16日(火)  
主催：新発田市教育委員会中央公民館／新発田市教育委員会学校教育課  
会場：新発田市青少年宿泊施設「あかたにの家」

今年度、新発田市内の全小学校が実施する、  
青少年宿泊施設「あかたにの家」を活用した  
防災キャンプのサポート等を1年間させてい  
ただきます。

初回はなんと！市教育委員会主催での「一泊二日」の研修会。

※防災教育でこんな研修会、本当に初めてです！

今後の活動に見通しを持っていただくことをねらいに企画した研修会。

未知の防災キャンプに対する先生方の不安や疑問等を、防災の専門家や防災教育に取り組んで  
いる教員に直接相談をしたり、体験をしたりして、今年度の「各学校の防災キャンプのねらい  
と活動計画」を考えいただきました。



先生方から、「参加前は、運動会前の忙しい  
時期に、、、と思っていたが、参加してよか  
った。」

「もっと早く実施してほしかった！すでに計  
画案を作っちゃったけどもっとやりたいこと  
がてきた。」

「防災キャンプを通じて、こどもたちの結束  
力を高めたり、楽しみながら協力する大切さ

を学ぶにはどんなやり方がありますか？」「今までの研修会の中でも一番よかった」等の声を  
いただき、当法人スタッフも今後の活動がますます楽しみになりました。

以下は簡単な研修会の内容と写真です。

「防災教育をわいわい語る会」のメンバーで、研修会の1日目の企画・講師を行いました。

①魚沼市立湯之谷中学校校長 五十嵐一浩先  
生、  
群馬大学大学院理工学府 金井昌信先生、  
上越市立黒田小学校校長 宮川高広先生より

「郷土愛を深める防災教育の可能性」「実  
践による効果とポイント」「活動事例紹介」



②昼食時は、非常食体験と家庭での備蓄につ  
いて考える体験講座を実施。

当法人事務局長 中野雅嗣が担当しまし  
た。



きました。

④防災教育をわいわい語る会、当法人、そして中越防災安全推進機構さんからもご協力いただ  
いて、小グループで各校の防災キャンプのプログラム作りを行いました。

⑤夕方から翌日の昼前まで、実際の防災キャンプで行うプログラムを体験していただきまし  
た。

サバイバルクッキングや避難所の準備体験、地域巡査の体験等を通じて、先生方から「イメー  
ジがさらにふくらんだ」とのお声をいただきました。

今後は各校の当日実践サポートや実践後の振り返りから、新発田市の特色を生かした教育活動  
として、教育効果が高く継続性のあるものにしていくようサポートさせていただきます。

引き続きよろしくお願ひいたします。





カテゴリ : 学校関係者, 防災教育をわいわい語る会, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

### NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー

14日 6月 2017

## 新発田市防災キャンプ①佐々木小学校の様子



6月13日（火）佐々木小学校第4学年（22名）の防災キャンプが実施されました。

場所：あかたにの家・滝谷森林公園

滝谷森林公園で、あかたに地域の方から自然の恵みについてお話をいただきました。

早朝に地域の方が採ってきてくれた山菜を10種類も見せていただき、

一口ウドを食べたこどもたちは「うまい！」と大はしゃぎでした。

他にも、人を川から救出するために、ペットボトルに紐を結んで投げる体験をしました。

グループで、遠くに飛ばすための工夫や紐がほどけないようにしっかり縛ぶ方法を考えました。

雪解け水が冷たく川には入れませんでしたが、川に紐で縛ったペットボトルを投げ、流れの速さが違う場所があることに気づきました。

自然の恵みと危険について学んだあとは、

大雨が降って災害が発生した設定であかたにの家に避難しました。

羽越水害の体験談を聞いたり、非常食を食べたりと避難所生活の体験をしました。

防災グッズ作りが楽しかった～！と言って帰っていったこどもたち。

地域の人の優しさや自然の魅力を感じ、いざ災害時に自分にもできることがあると気付くことのできた1日になったのではないかと感じています。

地域と一緒にこどもが育ち、自分を大切にできる、そんな活動になるように  
スタッフ一同サポートしていきます。



カテゴリ：学校関係者, 洪水, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
つくする「防災教育」をきっかけに、  
い未来を創る



04日 7月 2017

## 魚沼市立六日町小学校での防災教室について



6月15日（木）魚沼市立六日町小学校のオープンスクールで防災講座を実施しました。地震災害について映像と写真資料を見て、災害発生時の対処行動について学びました。その後校舎内の写真を見て、地震が起きたとき危険だと思う場所とその理由をグループで考えました。話し合いをする時のコツを少し紹介し、みんなが気持ちよく自身を持って話ができるように話をしました。それを聞いた子どもたちは、「なるほど～」と相手の話を聞いたり、発言した子に拍手をするなど工夫して話をしていました。

その後、グループの中の2人以外が他のグループに散らばって話を聞きに行き、残った2人は話を聞きに来た他のグループに説明をする。話を聞いて戻ったらそれぞれ聞いてきた内容をシェアし、グループの考えを再検討するというワールドカフェという話し合いを行いました。2時間の中でしっかりと考え方話し合ったり、はじめて見る地震発生時の様子を見たり、体験談を聞く活動を通して、地震が起きた時どのように行動したらよいか、そして危険箇所の視点を身に付けることができたと感じました。これからも引き続き防災をテーマに学んでいくそうです。先生のこどもたちへの願いに、私たちもできるサポートを行いたいと思います。



カテゴリ：学校関係者, 地震, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、わくわくする「防災教育」をきっかけに、よりよい未来を創る地域一体での共育社会の再建を目指します。

### NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー

02日 7月 2017

## 新潟市立青山小学校での防災教室について



6月16日青山小学校で全校防災教室を行いました。

水害をテーマに新潟地震の際の写真や映像資料で水害を学び、実際に津波がきたら、、と4メートルの高さを見てもらいました。

その後、長岡震災アーカイブセンターきおくみらいの防災グッズチェックリストを使い、縦割り班と保護者で一緒にひつようなものを考えるグループワークを行いました。

保護者の関心も深く、最後にお父さんから、経験した災害の話をきかせてほしいとの声があがり、中越地震時の実体験をお話しました。

保護者にも一緒に参加していただくことで、子どもたちも家庭に帰ってからも話し合いや良い振り返りができるのではないかと感じます。

ワークシート結果からも、家庭で避難場所を決め、一人の時でも災害時はその場所に行くこと（親子での約束）を家族で話し合えたことがわかりました。

カテゴリ：学校関係者, 備え, 津波, 地震, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

**NPO法人ふるさと未来創造堂**

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: [info@furusato-mirai.com](mailto:info@furusato-mirai.com)



20日 6月 2017

## 新発田市防災キャンプ②五十公野小学校



6月20日（火）新発田市防災キャンプ第2弾は、五十公野小学校でした。

午前中、赤谷地域のまちあるきを行いました。

自然の中を歩き、女の子は「素敵～！かわいいお花いっぱい～」男の子は「おたまガエル！足でてる！」と大興奮。1人1枚チエキでお気に入りの自然を写真におさめ、帰ってから地図に良いと思った理由と写真を貼り、それぞれの赤谷良いとこみつけ地図を完成させました。

1枚しか撮れないから、ほかの景色は、目のカメラでおさめておこう！まぶたがシャッターだ！と言っていた子たちが印象に残ります。



その後、みんなの地域も含め、自然に近いということは自然災害にも近いということだね。災害について知り自分の身を守ろう！と午後からの活動を行いました。

もちろん、子どもたちの好きなグッズ作りも行いました。

私たちは、自然がなければ生きていけない。

大好きな自分のまちで暮らすために、そしてもしもの時のために、私たちにもできることがあります！！と元気に学校に戻っていました。



カテゴリ : 学校関係者, 備え, まち歩き, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

## NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



26日 6月 2017

## 新発田市防災キャンプ③猿橋小学校



6月21日（水）猿橋小学校第5学年113名  
あかたにの家防災キャンプをサポートしました。

まずは、川の恵みについてクイズを混ぜて学びました。

加治川にはどんな生き物がいるのだろう。ごの生き物はきれいな川にしかいないよ、ザリガニは汚れて濁っているところによくいるよ、など教えてもらひながらクイズに挑戦しました。

その後、自然災害について知り、簡易版DIGを行いました。地図を見て、目印になる建物や通学路、自宅を探すのはとても大変です。先生方や講師と一緒にハザードマップと照らし合わせながら、「ここが加治川だね！うち、こんな近かったかなあ。」と改めて自分たちの住む街を知る活動になりました。

避難場所へのルートを考えながら、

「この避難所だと川を通らないと行けないんだ。」と気付き、「こっちの通りを行ったらいいんじゃない？」「○○医院は高い建物だよ！そこに避難するほうが近いよ」と友達同士教え合う場面もありました。



他には、非常食体験、避難所の生活に役立つ工夫を体験しました。

考えて気づいた事や、体験して学んだことを家庭に帰って家族や友達に話してあげてね。との講師からの話に真剣な顔でうなづいていました。



カテゴリ：学校関係者, 洪水, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

## NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39  
Tel: 0258-94-6119  
Fax: 0258-94-4582  
Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー



30日 6月 2017

## 新発田市防災キャンプ④本田小学校



6月22日（木）は本田小学校第4学年、11名の防災キャンプを実施しました。  
雨が止んだばかりで、かたつむりいるかな？  
とワクワクしながら、まち歩きをして、赤谷地域の良いところを探しました。戻ってきてマップにまとめることで、自然の良さを改めて感じました。

そして、自然なしには生きられない私たちは自然災害に備えておかなければいけないということをおさえました。  
他にも非常食体験、グッズ作りと行いました。  
人懐っこい笑顔と真剣な眼差しで1日活動を行い、自分たちにもできることがある！と気付き、家族にも伝えるんだとたくましい姿で帰りました。



カテゴリ：学校関係者, 備え, まち歩き, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくする「防災教育」をきっかけに、  
よい未来を創る

30日 6月 2017

## 小須戸中学校とコミュニティ協議会の防災講座について



6月23日（金）小須戸中学校の防災学習で、地域コーディネーターとコミュニティ協議会の皆さんと一緒に避難所運営ゲームHUGを活用した防災学習を行いました。

今回の学習を生かして、7月15日（土）には、コミュニティ協議会と中学校合同の防災訓練にて、実際に避難所の開設訓練を行います。

講座を体験した中学生から、

「避難所を運営する人の苦労が分かりました。」

「避難場所で、目的別部屋割りを考え、配置することの難しさを感じました。」

「小須戸地区は地震の際、意外と揺れやすく、液状化しやすいことが分かりました。」

などの感想がありました。

また、この活動から、今までの〈意識〉や〈考え方〉から変化が起こったこととして

「避難所に「来るだけ」が「来て協力する」に変わった。」

「今まで家族と「もし災害が起きたら、どこで集合するか」を話し合っていなかったので、決めようと思いました。」などがあがりました。

（一部抜粋:小須戸中学校　学校だより）

7月15日の合同訓練、中学生の活躍が本当に楽しみです。

カテゴリ：学校関係者, 避難所, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る

23日 7月 2017

## 新発田市防災キャンプ⑤川東小学校



平成28年6月27日(火) 新発田市立川東小学校第4学年32人

あかたにの家で防災キャンプを行いました。

まずは、川博士の安永先生から楽しい川の生き物クイズをしてもらい、その上で上流・中流・下流の特徴や気をつけることなどを学びました。

その後、学区の地図とハザードマップを使っての学習で自分の住む地域を知る活動を行いました。

そして、避難の方法や日頃からの周りの変化に敏感になること、早めの避難の大切さなどを学びました。



そして、  
子どもたちが活動している間に講師の安永先生が、川の生き物をとってくれました！

みんな大喜びでした。



午後からは、避難所の工夫として防災グッズ作りをおこないました。

大好きな新発田に住みたい、そのためにも自然災害について知り、日ごろから準備をしていくことが大切なんだを感じてもらうことができた1日だったのではないでしょうか。

まだまだ続く、防災キャンプ。学校も様々、こどもたちも様々、たくさんの出会いに感謝して活動をしてきたいと思います。

カテゴリ : 学校関係者, 洪水, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

## NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー



28日 7月 2017

### 新発田市防災キャンプ⑦外ヶ輪小学校

平成29年6月30日(金) 新発田市立外ヶ輪小学校第4学年48人  
あかたにの家防災キャンプの様子です。



今回は防災レクリエーションです。  
新発田の恵みと自然災害について知り、自然豊かなこの新発田に住みたい！という子どもたちに、もしもの時のために防災について学ぼう伝え、グループに分かれて活動しました。

そして、水消火器・毛布担架・防災クイズ・応急手当の4カ所をまわりました。



お医者さんじゃないから治せないけど、友だちや家族、周りの人の命を守るために自分たちで痛みを和らげてあげたりすることができるね。と話すと、家に帰ってお父さんお母さんに教えてあげる！と嬉しそうに話していました。

1人ではむずかしくても、みんなで協力すると身近なもので人を運べるんだ。

消火器の使い方だけじゃなく、まずは大声で知らせるっていうことを知りました。

など、体験を通して様々なことを学びました。

午後からは、洪水災害の身の守り方を学びました。  
そして、避難所の様子から困りごと・その時自分にできることをグループワークで考えました。

最後は、自分にできることの体験として、新聞紙スリッパ作り、段ボールシェルター作りをおこないました。



カテゴリ：学校関係者, 避難所, 火災, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



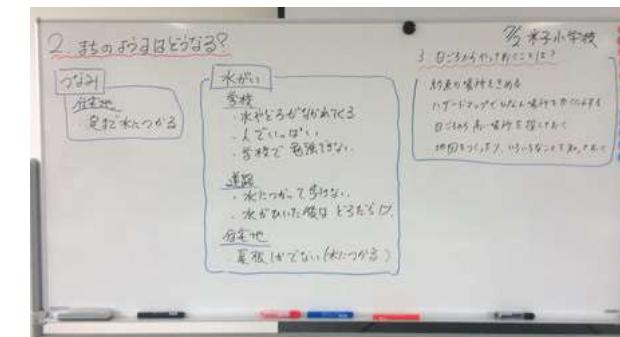
28日 7月 2017

## 新発田市防災キャンプ⑧米子小学校



平成27年7月3日(月) 新発田市立米子小学校  
第4学年17人  
あかたにの家防災キャンプの様子です。

米子小学校さんは川のそばにある学校。  
災害の様子から自分たちの地域ではどんなことが起こるのか、その災害が起こると誰がどんな事に困るのか、ということを考える講座を行いました。



その後、サバイバルクッキングを行い、じぶんたちで作ったおいしいご飯をいただきました。



午後からは、電気が使えなくなった時にも役に立つLEDランプを作りました。



1日の中で楽しみながら、4年生の自分たちにできることがたくさんあるということを体験してもらいました。

カテゴリ : 学校関係者, 洪水, 備え, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

## NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー



28日 7月 2017

## 新発田市防災キャンプ⑦菅谷小学校

平成29年7月5日(水) 新発田市立菅谷小学校

第4学年12人

あかたにの家防災キャンプの様子です。

菅谷小ではこれまで他の学校でも行っています、簡易版DIGを最初に行いました。

学区の地図を見て、学校・自分の家・目印になる建物を探し、川や水路に色づけをする。その後避難所までの道のりを考える活動です。



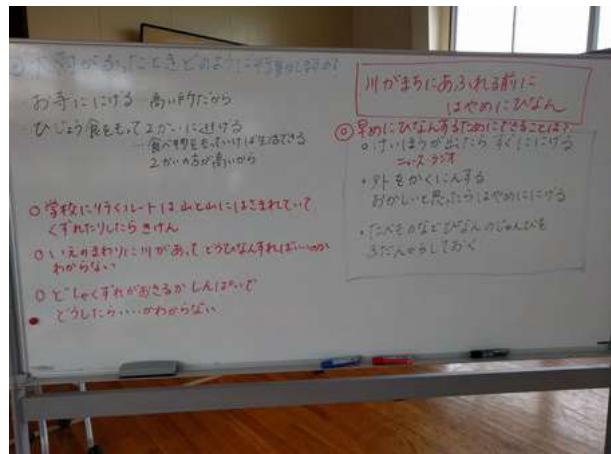
菅谷小の子どもたちは地図を見るのがとても上手ですぐに、ここに○○があるよ～や、この近くに高い建物はないな、など活発な話し合いをしながらグループ活動を行うことができました。

避難ルートを考える時に困ったことを発表し、どうしたら良いか考え、避難所に避難するだけが安全ではなく、自宅の高いところに避難する方がよいこともあると気づきました。  
その後川がまちにあふれる前に早めに避難することが大切だということを押されました。

早めの避難をするためにできることは?という問い合わせに、ニュースやラジオを聞く。という声だけでなく、  
外の様子を見たらいいんじゃない?と言ってくれた子もいました。

自分で自分の身を守る、考えて判断し行動する力を持っている子たちなんだなと感じる場面が多くありました。





その後は、水消火器体験と毛布担架づくりと搬送体験、非常食体験を行い、午後から避難所の様子を知り、防災グッズ作りなどを体験しました。

新聞紙スリッパや応急手当、ダンボールシェルターなど、グループ内で声かけをしたり、手伝ってあげたりと協力して活動しました。



昼休みの一コマ

カテゴリ : 学校関係者, 洪水, 備え, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

### NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

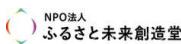
Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー



2020/5/14

06日 8月 2017

新発田市防災キャンプ⑩二葉小学校



平成29年7月6日(木)、7日(金) 二葉小学校  
校第4学年45名  
一泊二日、あかたにの家防災キャンプの様子  
です。

二葉小学校さんでは、昨年も宿泊での防災キャンプを実施しました。

地域の方と関わり地域の良さを知り、保護者の方のあたたかいサポートに感謝し、みんなに守られている実感からより命の大切さを実感する。そんな風に感じます。

1日目前中は慶應義塾大学大学院防災社会デザイン研究室に在籍している、二葉小学校の卒業生の講師よりランタン作りや災害からの身の守り方をおしえてもらいました。



非常食を食べた後は、災害が起きた時の避難所ではどんなことに困るのか、そしてその対応策を考えました。

災害時にはみんなで協力することが必要だということを再確認し、グループに分かれて、「生活ルール班」「物資班」「環境・衛生班」それぞれで、宿泊に向けての準備。

物資を配ったり、ルールを決めて何か所かに掲示したり、男女分かれて寝るか一緒に寝るかをみんなで考えたりと  
すべて自分たちで考え、工夫し、協力して行います。

グループ決めの時、寝るところを決める時も、意見が分かれてしまったのですが、お互い否定することなく譲り合ったり、納得するまで話し合う。その一生懸命な姿に感動し、大人の方が涙が出そうになる場面もありました。

宿泊の準備が整ったあとは、みんなでサバイバルクッキング。その後、羽越水害の話を地域の方からしてもらったあとは、笛を見に行って就寝しました。

2020/5/14

新発田市防災キャンプ@二葉小学校 - NPO法人ふるさと未来創造堂

二日目の朝、みんな早起きして片づけもバッヂリ。

ラジオ体操をして、朝食は人数より少ないパンとバナナをみんなでどうやって分けたら良いか考え、相談して、みんなで納得して朝食を食べました。

その後学校に戻り、今度は地域の方や保護者の方と一緒にまち歩きをおこないました。

もしもの時にこの地域の人はここに集まるんだよ、ここはお年寄りがたくさんいる建物だね、この用水路は見えにくくて落ちやすいから気を付けないとだね。など確認しながら歩きました。



2020/5/14

新発田市防災キャンプ@二葉小学校 - NPO法人ふるさと未来創造堂



保護者の方がたくさん集まって父母の愛情たっぷりのお昼ごはんを楽しみにマップ作りをしました。



まち歩きをした時にとった写真を地図に貼り、どんなところが危ないか、どんなところが役に立つか、理由と一緒に書き込みました。

その後、2日間にわたり活動し、さらに朝ご飯は少し少ない...お腹が減っている中で、保護者のみなさんが作ってくれたごはんを食べ、一番の笑顔になりました。

食べ終わったあとは最後、地域の方、保護者、先生、みんなで発表を聞きました。  
地域の方とまち歩きをする中で、地域の方が「みんな何かあったら声を出しなさい、そうしたら地域の人が助けにいくから」という話があったそうです。

まさに、学校、家庭、地域でこどもを守り、育てる。そんな二葉地区。

感動の涙で活動を終えました。

カテゴリ：学校関係者, 避難所, まち歩き, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

## NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

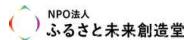
Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights Reserved.

Cookie ポリシー



18日 8月 2017

## 新発田市防災キャンプ⑪紫雲寺小学校



平成29年7月11日(火) 紫雲寺小学校第4学年  
24人の  
あかたにの家を活用した防災キャンプの様子  
です。

まずは、防災について少し学び、自分たちに  
できることとして、  
お楽しみの防災レクリエーションで様々な体  
験活動を行いました。  
・水消火器体験      •新聞紙スリッパ作り  
・防災クイズ（地震や洪水から命を守る。自  
地域の避難所について等）

### ・応急手当体験

学校で自然災害や避難所について学んできたことが、体験活動の内容を災害時のイメージに結  
びつけながら実践できていたように感じました。

お昼は非常食体験。  
午後からは振り返りと災害時に困ることにつ  
いて考えました。  
その中のひとつ、電気がつかえなかっ  
たら・・・ということで  
ランタン作り体験。



好きな型を書いてカッターで切り抜き、カラ  
ーセロハンを貼る。  
4年生の児童はカッターで切ることが難しい  
だろうと型を用意していましたが、  
みんな手先が器用で様々なイラストを切り抜いていました。

笑顔があふれる紫雲寺小学校のみなさんでした。  
学んだことを生かして、「自分の命を守りたい」「みんなの役に立ちたい」という、こどもた  
ちのお手紙を後日いただきました。  
ありがとうございました。



カテゴリ : 学校関係者, 備え, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る



20日 8月 2017

### 新発田市防災キャンプ@東豊小学校



7月12日（水） 東豊小学校第4学年77人  
あかたにの家防災キャンプの様子です。

この日は、消防署の方に来ていただき、災害時の様子や緊急地震速報がなった時の行動と応急救手当を学びました。

東豊小学校は「グループでお互いに協力しながら、課題を克服する活動を通して、友だちと協力すること・他人を思いやること・やりとげることの大切さを学ぶ。」という防災キャンプでのねらいがありました。

消防署の方から学んだあとは、みんなで協力して活動する防災レクリエーション活動。  
毛布担架づくりと搬送体験・バケツリレー体験・新聞紙スリッパ作りをグループで回って体験しました。

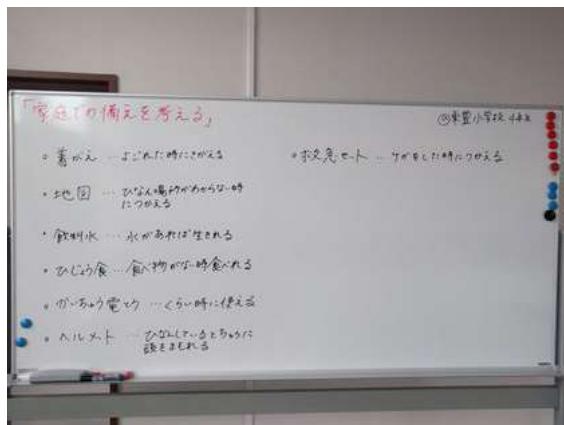


声をかけあいながらバケツリレーや毛布担架体験を行い、  
新聞紙スリッパを家族にも作ってあげようね  
と言ながら、ひとつひとつの活動を元気に一生懸命行っていました。

他には、非常食体験、家庭での備えを考える  
グループワーク活動を実施。

災害時の様子から、どんなものが必要になるか考え、その中からさらに重要だと思うものを個人で考えたあと、グループで5つ考え選んだものと理由を発表しました。

暑い中たくさんの活動をしましたが、最後まで協力して活動を行いました。



カテゴリ : 学校関係者, 備え, 地震, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

**NPO法人ふるさと未来創造堂**

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com

03日 10月 2017

## 【防災玉手箱】長岡市立日越小学校防災教室について



合わせました。

【想定】大雨が振り続いている状況で、家に1人でいるとき、家の前の道路は30cmくらい水につかってしまいました。あなたはどうのようにして自分の身を守りますか？

子どもたちはこれまでの学習や浸水時の危険イラスト資料などを参考にし、「上の階に逃げる」「2階に食料を運んで助けを待つ」など具体的に自分の身を守る方法について活発に話し合っていました。

最後に、自宅での避難時どんな備えや準備が必要か理由も含め、グループで話し合わせました。「食料→食べ物がないと生きていけない」「ラジオ→情報・まちの様子が分かる」などたくさんの意見が発表されました。



過去の災害を教訓に、地域目線での防災教育が根付いている日越小学校。具体的な状況を想定し、「自分だったらいざという時どう行動するか？」を考えることにより、子どもたちは自分ごととして捉え、災害を身近なものとして感じることができたのではないかと思います。

カテゴリ : 学校関係者, 玉手箱, 洪水, 活動紹介2017

28日 9月 2017

## 【防災玉手箱活用】越路西小学校防災教室について



平成29年9月20日（水）

長岡市立越路西小学校の祖父母参観日にて、長岡市「防災玉手箱」を活用した防災教室を行いました。

まずは、中越地震の被害を写真資料で確認しました。

そして、防災玉手箱の講師、石黒みち子さんより  
中越地震発生時の心境や、その後近所の人と助け合ったこと、避難所の様子をお話いただきました。

避難所の様子を知り、自分たちにできることとして

おじいちゃんおばあちゃんと一緒に、新聞紙スリッパ作りを行いました。

防寒にもなるね、海に行った時にも使えるね、など

どんなことに役立つか、どんな使い方があるかを確認しながら作ることができました。

他にも、身近なものを工夫すると色々な防災グッズを作ることができる、

ということで、石黒さんよりグッズの展示をしていただきました。

新聞紙で座布団、段ボール椅子、ツナ缶キャンドル、ペットボトルランタンなど、普段使いもできる防災グッズを手に取り確認することができました。

あっという間の45分でしたが、

災害に備える心構えを学ぶことができたのではないかと思います。

小学校のみなさん、保護者のみなさま、先生方、ありがとうございました。



28日 9月 2017

## 【防災玉手箱】青葉台中学校 全校防災教室について



平成29年9月27日（水）

長岡市立青葉台中学校にて、防災玉手箱を活用した全校防災教室を行いました。

青葉台地域で活躍されている、中越市民防災安全士会の前会長畔上純一郎さんより

- ・青葉台3丁目の地域の取り組み
  - ・中学生に期待すること
- についてお話いただきました。

他にも、青葉台2丁目、3丁目、5丁目の地域の方3名にお越しいただき、新聞紙スリッパ作りを行いました。

「知っていることとできることはちがう」「日中仕事に行っている大人は動けない、中学生に期待している」という畔上さんの話から

「地域の防災訓練に積極的に参加したりして、自分たちにできることをしっかりやっていきたい」という3年生の挨拶がありました。

地域の日頃の活動が、地域のコミュニケーション力を高め、それがあったからこそ中越地震を乗り越えられたという青葉台地区に住む中学生のこれから活躍が楽しみです。

カテゴリ : 学校関係者, 玉手箱, 地震, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
い未来を創る



04日 10月 2017

## 【防災玉手箱】長岡市立山古志中学校防災教室



平成29年9月27日（水）  
長岡市立山古志中学校にて、全学年を対象に「避難所の課題を知り、地域のために自分ができることを考える」をテーマに防災教室を行いました。

今回は避難所運営ゲーム（HUG）を使った学習です。

★避難所運営ゲーム（HUG）とは？  
避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

(防災玉手箱【参考資料15-1】ふじのくに「HUGってなあに」より)

山古志中学校が避難所になったと想定し、地域の被害状況・避難所の様子・災害用で使えるもの・避難者の状況を説明し、グループで役割分担（隊長、書記など）を決めた後、ゲーム開始です。

次から次へと避難所にやってくる避難者の対応、避難所で起こる様々な出来事（物資がどんどん届くなど）に対して、グループのみんなで協力しながら、一生懸命取り組んでいました。

最後に、私たちが災害時に避難所でできることを考え、「物資を運んで配ること。なぜなら、子供が笑顔で配るとみんなも笑顔になるから」など心が温かくなる発表をしてくれました。

全学年とても仲の良い山古志中学校の生徒の皆さん。そのチームワークのよさで、山古志の地域をぜひ支えてくださいね！

ドリ：学校関係者、玉手箱、避難所、避難訓練、活動紹介2017



24日 10月 2017

## 【上越市立黒田小学校】防災キャンプでの避難所に関する講座



平成29年9月29日(金) 上越市立黒田小学校にて防災キャンプが行われました。  
その中で、避難所運営に関する講座を担当させていただきました。

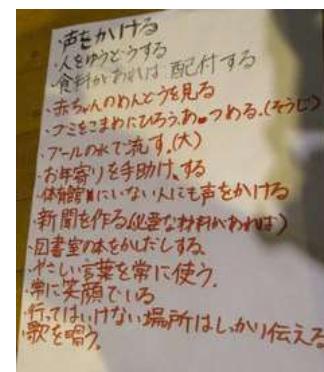
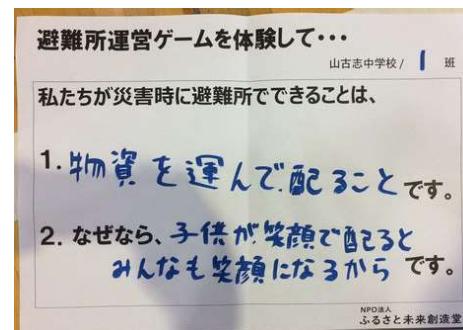
避難所運営ゲームHUGを活用し、避難所について知り、自分たちにできることや避難所生活で必要なルールについて考えました。

災害が起きた時の避難所の様子や、どんな人が避難所に来るのか知り、

グループに分かれ、学校運営協議会の委員の皆様や先生、教育実習生の方と一緒に避難所運営ゲームHUGを体験しました。

どんどん避難してくる人の部屋割りや様々な課題に頭を悩ませながらも、それぞれのグループで最善がと思う方法を一生懸命考えていました。

「たくさん人が来るし、車いすの人もいるから通路があった方がいいよね」と図面に通路の線を引いてからカードを並べているグループもありました。



体験した後は、グループで「避難所でみんなが少しでも安心して生活するために自分たちに何ができるのか」を考え、全員から発表してもらいました。

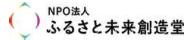
お手伝いできることや人の気持ちに寄り添った心のケアについてなどたくさんの提案があり、

自分の身を守った後は、みんなで協力して自分たちにできることをやろう！

という強い想いが伝わってきました。

普段から、そしてもしもの時も、  
人の気持ちに気づき、考え、じぶんにできることをやっていく。

そんな黒田小学校の子どもたちをこれからも陰ながら応援していきたいと思います。



カテゴリ : 学校関係者, 避難所, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

## NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー

04日 10月 2017

### 【新潟市立小瀬小学校】地域安全マップづくり



平成29年9月30日（土）

新潟市立小瀬小学校にて、5・6年生を対象に「地域安全マップづくり」をテーマに防災教室を行いました。

まずは、小瀬小学校周辺の津波ハザードマップを紹介。実際にどのくらいの高さの津波が予想されているのか、確認しました。

次に、まち歩きで危険箇所・役に立ちそうなポイントなど調べることを説明し、各地域に分かれ、まち歩きスタート。

保護者ボランティアの方々のアドバイスを参考にしながら、「電信柱が倒れたら危ない！」  
「こここの畑は広いから安全だね」など調べた箇所を写真に撮り、地図に書き込んでいました。

学校に戻り、まち歩きをして分かったことを地域安全マップにまとめ、完成させます。調べた箇所に撮影した写真を貼り、赤・青・黄色シールでそれぞれ色分けしたり、他の人にも伝わるようブロッキーも使い、工夫しながらまとめてくれました。



全体発表では、「ブロック塀にひびが入っていて、道に崩れてくる」「ガラスが多く、歩道や道ぎりぎりの家が危ない」など細かく調べた結果を発表してくれました。

まち歩きの時間は短かったものの、小瀬小学校の5・6年生の皆さん、活動からたくさんの発見をしてくれて、真剣に取り組んでいました。

秋の文化祭で、今回作成した地域安全マップが展示されること。子どもたちの学びが詰まった完成品をぜひ見に行きたいと思います。

カテゴリ : 学校関係者, まち歩き, 活動紹介2017

05日 10月 2017

## 【新潟市立根岸小学校】根岸地域・根岸小合同防災訓練



平成29年10月1日（日）

新潟市立根岸小学校「根岸地域・根岸小防災訓練」にて、上学期・下学期を対象とした防災教室、学校・地域の方々を対象とした防災に関する体験活動のサポートを行いました。

上学期のテーマは「洪水災害」。洪水災害の危険性を写真や映像を使って学び、地域の防災士の方から、平成23年新潟・福島豪雨災害のまちの様子についてお話をいただきました。

下学期のテーマは「地震災害」。学校内外の写真を使って「3つのない場所（落ちない、倒れない、動かない）」で命を守る大切さを伝え、地域の防災士の方から、新潟地震・阪神淡路大震災の体験談のお話をいただきました。

防災教室終了後、避難訓練、「根岸地域・根岸小防災訓練」合同開会式が行われ、防災に関する体験活動が始まりました。

私たちは、3・4年生対象の新聞紙スリッパ作り体験、地域の方々対象のダンボールでの防災グッズ作り体験を担当しました。

新聞紙スリッパは、身近なもので簡単に作れる防災グッズです。子どもたちは自分用のスリッパ以外にも、小さな弟や妹の分まで一生懸命作ってくれました。

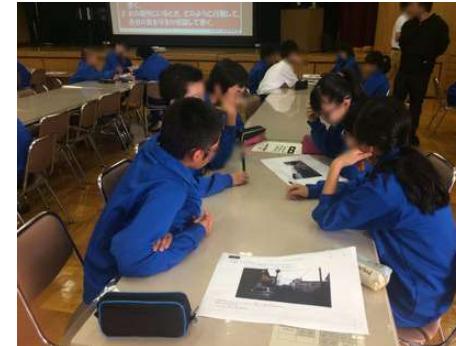


ダンボールでの防災グッズ作り体験では、ダンボルトイレ、ダンボルパーテーション、ダンボルイスを作成し、「こんなものまで作れるなんて！」と終始大盛り上がりでした。

子どもたちも地域の方々も楽しみながら、防災を学べた一日だったのではないかと思います。学校と地域が連携した素晴らしい防災訓練でした。

16日 10月 2017

## 【南区防災教室】新潟市立月潟中学校防災教室



平成29年10月11日（水）

新潟市立月潟中学校にて、全学年を対象に「地震から自分の身を守る方法を考え、地震発生後、他者のためできることを体験する」をテーマに防災教室を行いました。

まずは、過去の地震によるまちの被害や映像を見せ、地震発生時に起こる危険性を学びました。その後、学校外の身近な場所として月潟地域の写真を使い、地震発生時の危険箇所とその場所で身を守る最善の行動について、グループごとに話し合いました。

「家のガラスが割れて落ちてくる」「電線が危ない」「安全な場所でしゃがんで頭を守る」など、普段見慣れている場所での危険箇所や身の守り方について、真剣に話し合っていました。

その後、地震から身を守った後に他者のためできることとして、毛布を使った応急担架づくりと搬送体験を実施しました。

緊急時に担架がない時、毛布1枚と棒2本で応急担架が作れることを伝え、生徒全員に体験させました。身近にあるもので応急担架が作れることや、実際に搬送体験することで「頭の方が重い！」など人の重さを体感することができました。



最後に、南区総務課の方から「まずは自分の命を守ること。そして、地域のため、人のために自分にできることを増やしてほしい」と中学生にメッセージを送りました。

中学生は、地域のため、人のためにできることが沢山あります。グループで協力しながら、活動に一生懸命取り組んでくれた月潟中学校の皆さん。今後の活躍、期待しています！

ヨリ：学校関係者、地震、活動紹介2017

16日 10月 2017

### 【新潟市立臼井中学校】臼井保育園・臼井中学校合同防災訓練



平成29年10月12日（木）

新潟市立臼井中学校「臼井保育園・臼井中学校合同防災訓練」にて、全学年・園児を対象とした避難訓練、防災教室「防災ダック」の見学に行かせていただきました。

新潟地方を中心とするマグニチュード7クラスの地震が発生し、信濃川堤防決壊の危険性があることから、臼井保育園児の臼井中学校2階への避難を急がなければならない状況と想定し、中学生全員が園児を迎えに行きました。

中学生が車道側を歩き、園児と手をつなぎながら避難所である中学校に向かいます。その際、中学生は園児がこわがらないよう、やさしく声をかけながら避難補助をしていました。

中学校へ避難後、体育館へ移動し、防災教室「防災ダック」による園児への指導を中学生がグループに分かれ、担当します。

#### ★「防災ダック」とは？

子どもたちが実際に体を動かし、声を出して遊びながら、防災や日常の危険について学ぶことができるゲーム。



「地震」「火事」「大雨」「知らない人」の対応について、園児たちが楽しみながら、分かりやすく学ぶことができるよう、中学生は園児目線のやさしい言葉を使い、和やかな雰囲気で教えていました。

防災を学ぶだけでなく、お互い顔見知りの関係になることは、地域連携での防災教育の第一歩です。全グループ、中学生は園児たちを思いやり、園児たちもお兄さん、お姉さんの話を一生懸命聞いている姿があり、大変素晴らしい合同防災訓練でした。

カテゴリ：学校関係者, 地震, 活動紹介2017

24日 10月 2017

### 【新潟市立白根北中学校】地震に関する講話と体験活動



平成29年10月17日（火）

新潟市立白根北中学校にて、全学年を対象に「地震発生時に起こりうる危険を想定し、避難後にできることを考える」をテーマに防災教室を行いました。

避難訓練後、地震に関する講話として、地震によるまちの被害の写真や映像を見せ、自分の命を守る避難行動について講話をさせていただきました。その後、学年別で移動しながら、3つのコーナーの体験活動を行いました。

#### ①地震発生時の起こりうる危険と避難行動を考える活動

グループに分かれ、白根北中学校周辺の写真から、その場所で地震が発生したときの危険箇所とその場所での避難行動を考えました。

#### ②防災グッズづくり体験

身近なもので作れる防災グッズとして、避難所生活で役に立つ「新聞紙スリッパ」を作成しました。

#### ③起震車体験

クラスの代表者が起震車に乗り、様々な過去の地震の揺れを体験。他の生徒は見学しながら、自分の命を守る方法を考えました。



全コーナーを体験後、感想として「中学生でもできることが沢山あると知った。災害時、落ち着いて今日学んだことを生かしたい」と代表の生徒さんが発表してくれました。

勇気を出して行動することで、中学生は大きな戦力になります。他者のために自分にできることを率先してを行い、白根北中学校の皆さんのが地域の戦力として活躍することを願っています。

カテゴリ：学校関係者, 地震, 活動紹介2017



24日 10月 2017

## 【防災玉手箱】阪之上防災の日（防災グッズづくり体験）



平成29年10月23日（月）

長岡市立阪之上小学校「阪之上防災の日」にて、全学年を対象に「被災した人を支援するため、自分にできることを考える」をテーマに防災教室を行いました。

今回の学習は「防災グッズづくり体験（新聞紙スリッパ）」です。

★防災玉手箱 ※参照ページは以下のとおり  
防災学習プログラム一覧 > №3 防災レシピ  
(身近なもので作れる防災グッズ等の紹介)

&gt; ① 新聞紙スリッパ

平成16年に発生した中越地震から13年。  
中越地震の被害状況や避難所となった阪之上小学校の様子、体験談について講話させていただきました。当時の避難所の写真を先生に提供いただき、実際にスライドで見せると、子どもたちの表情は一変。自分たちの小学校（避難所）で起こった話について、真剣に聞き入っていました。

その後、縦割り班に分かれ、新聞紙スリッパづくりを体験。班ごとに上學年の子が下學年の子に優しく作り方を教えており、教えてもらった下學年の子は「ありがとう！」ときちんとお礼を言っていました。

中越地震発生時には、まだ生まれていない子どもたち。自分たちが通う小学校が避難所になつたことを知り、過去の災害を身近なものとして感じることができたのではないかと思います。

カテゴリ：学校関係者, 玉手箱, 避難所, 備え, 地震, 活動紹介2017



01日 11月 2017

## 【防災玉手箱】長岡市立越路西小学校②



10月23日（月）越路西小学校で全校防災講座を行いました。

避難訓練で体育館に集合した後、玉手箱講師「石黒みち子」さんより  
原子力災害についての講話を15分程度していただきました。

1年生にもわかるように、日常生活の中での放射線についてスライドを使い説明し、「むやみに放射線についてこわがらなくていいんだよ」ということを伝えていただきました。

その後、もし原子力災害がおこったらどんな

行動をしたらよいのか、を長岡市の原子力災害に関するパンフレットをもとに、屋内避難を中心にお話していただきました。

質問を混ぜながらお話ししていただき、子どもたちも元気に手をあげて、しっかり話を聞いていました。  
もしもの時には、きっと石黒さんのお話を思い出し、服をはらって家に入る、窓をしっかりと閉める、手を洗う、などの行動をとってくれるのではないかと思います。

カテゴリ：学校関係者, 玉手箱, 原子力, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

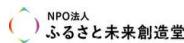
**NPO法人ふるさと未来創造堂**

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

info@furusato-mirai.com



01日 11月 2017

## 【防災玉手箱】長岡市立石坂小学校



平成29年11月1日（水）午前中に長岡市石坂小学校にてサバイバルクッキングを行いました。

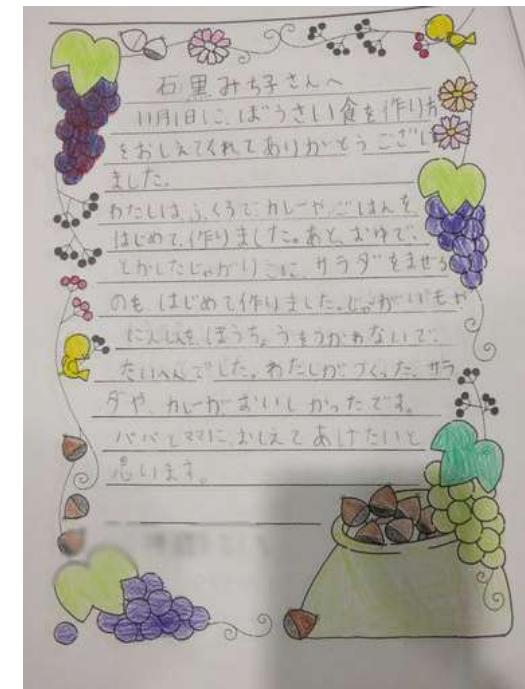
講師:石黒みち子

包丁を使わず、すべてキッチンバサミで材料を切り、少しの水と家庭にある道具で、工夫して調理することを体験しました。

長岡保健所の方にもお越しいただき、災害時にも栄養バランスを考え食べようねとお話ししていただきました。

中越地震の体験談を聞く時間もあり、体験したことがない大地震ですが、備えと日頃のお手伝いについて考えるきっかけになったのではないかと思います。

家でまた作ろう、お母さんに教えよう、という声がたくさん聞こえてきた時間でした。



カテゴリ : 学校関係者, 玉手箱, 備え, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights



05日 2月 2018

## 【新潟市立中之口西小学校】中之口西小防災フォーラム



平成30年1月24日（水）

新潟市立中之口西小学校にて、「地域と学校 ウエルカム参観日～地域に学び、地域を誇れる子どもの育成～」に合わせて、「中之口西 小防災フォーラム」が開催されました。

その中で、全学年・地域・保護者の方々を対象に、語り部による防災講座（テーマ：地震）・体験活動（新聞紙スリッパ作り）を担当させていただきました。

まずは、長岡市東川口在住の吉原 昌隆氏より、中越地震発生時の様子や地域の大人と子どもが皆で協力をした避難生活について、写真を見せながらインタビュー形式で講座を実施。最後に当時を振り返り、「日頃からの地域とのつながりによって避難生活を乗り越えることができた」とお話しいただきました。

次に、「自治会ごとの防災ミーティング」と題し、自己紹介や各自治会の避難場所や避難方法などの約束事の確認をしました。自治会長から子どもたちへ優しく分かりやすい言葉で約束事を伝えており、終始和やかな雰囲気で防災ミーティングを行っていました。

最後に、地域の防災士や西蒲区役所の協力のもと「新聞紙スリッパ作り」「AEDによる心肺蘇生法」「毛布で担架作り」「防災グッズ体験コーナー」を自治会ごとに体験しました。

ご担当の先生から、「良い活動だった。来年も続けたい」との声がありました。防災をきっかけとした地域とのつながりは、防災意識を高めるだけでなく、地域住民と子どもの絆も深めることができると思います。今後の継続をぜひ期待しています。



カテゴリ : 学校関係者, 地震, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

### NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com





08日 2月 2018

## 【防災玉手箱】長岡市立前川小学校避難訓練と新潟県防災教育プログラム



実施内容「避難訓練+新潟県防災教育プログラム【雪災害編】」

平成30年1月30日（火）長岡市立前川小学校の取り組みを見学させていただきました。

### 1. 避難訓練

体育館に集まった後は、様々な場所で児童を見守っていた先生数名から良かったところ、悪かったところのお話がありました。

「しゃべったり、叫んだりする子がいなくて◎」

「自分の席にもどろうとしたり、掃除道具をかたづけに行くのは×です。」

「まずはしっかり放送を聞くけど、動いていた途中の恰好で固まつたようにして聞くのではなく、しっかり聞く姿勢で止まりましょう」

「日頃から靴の紐を結んで、ちゃんと履いて、というのは、こういう時につながっているのです。普段からやっていないと、いざという時に命を落としてしまうかもしれません。」など、とてもわかりやすくお話を聞いていて、子どもたちも真剣に話を聞いていました。

### 2. 新潟県防災教育プログラム【雪災害編】

避難訓練の振り返りを各クラスで行い、3年生は次の時間に雪についての学習を行いました。

プログラム内の写真資料を使って、大雪時の様子を確認した後、ワークシートを使い、大雪が降った時の危険について考えました。

「上から落ちてくるから危ない」「雪があつて道路のところを通ると車が通っていて危ない」

などたくさんの意見が出ました。

さらに、「雪が積もって道の横の水路に気づかないで落ちてしまうと危ない」と発表してくれた子もいました。

・あ雪って本当に重たい？と、先生が持ってきたのはバケツいっぱいの雪。

みんなで順番に実際に持つことで、「重たい。落ちてきたらヤバい。」と実感してる様子でした。

最後にキリンの巻物を広げ、児童の背と比べながら、こんなに降った時もあるんだね、と確認しました。

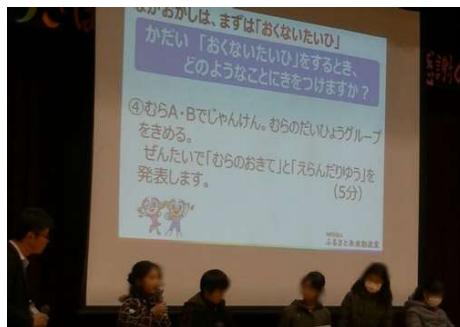


カテゴリ : 学校関係者, 玉手箱, 避難訓練, 活動紹介2017



12日 5月 2018

## 【防災玉手箱】長岡市立阪之上小学校原子力災害に関する講座



平成30年3月9日（金）13：45～14：40  
長岡市立阪之上小学校にて「防災の日」の全校集会で原子力災害に関する防災講座を行いました。

①原子力災害の存在と身を守る方法を考える  
・村活動へつなげるための予備知識を、○×クイズを通して学びました。

放射線と放射性物質についてイラストを使い説明し、「人から人にはうつらない」ことや身の守り方、屋内退避について、楽しく学

ぶことができました。

### ②屋内退避や避難をする際の注意点を考える※村活動

・縦割り活動班（村）をA・Bの2グループに分かれ、長岡市原子力災害パンフレットのイラストを見ながら、屋内退避をした際に気を付けることを話し合い、その中から最も大切にしたい「村のおきて」を一つ決めました。

### ③発表

・まずは、村の中で（A・B）発表を行い、その後村の代表を決め、それぞれの村から「村のおきて」と「選んだ理由」を発表してもらいました。

発表では、「放射性物質が入ってこないように外気を遮断する。まずは自分の身を守るために放射線を体にいれないことが大切だから」「新しい情報を手に入れる。外で起きていることを早めに知ることで、早く行動することができるから」

「落ち着いて行動する事。落ち着いて行動することで、冷静に判断し行動することができるから」

「準備をしておくこと。早く行動しなければ手遅れになることがあるかもしれないから」など、様々な「おきて」が発表されました。

その後、自分たちだけが知っていても防げないこともある。大人だってパニックになることもある。だから日頃から家族全員で話し合いをしておくことが大切なことを伝え、まとめとなりました。

講座後のワークシートに書かれていた感想の一部を紹介します。

- ・もしげんしりょくさいがいがおきたら、ひとりしかいなくても、まどをしっかりしめてじぶんのいのちがまもれるようにしないといけないとおもいました。つくえにたべものがあった

ら、ラップをしめることをわすれずにしなきゃいけないとおもいます。（1年）

・今日の全校集会では、原子力災害から身を守るということがとてもよく分かりました。それで、ほうしゃ線では、食べ物の中にも入っていることがとてもよく分かりました。それと、人間どうしで話しても、ほうしゃ線はうつらないということがよく分かったと思います。これで3年目です。次で4年目なので、村の人にもより多く伝えたいと思います。（3年）

・私は正直100%放射線をあびないことは無理だと思います。ですが、あびる量を減らすことならできます。その方法は「屋内退避」です。外にある空気をあびないことで放射線のあびる量を減らせます。なので私はこの近くで原子力災害が起きたら、まずは建物の中に落ち着いて入るということを覚えていきたいです。家族が多いのでみんなに習ったことを伝えて、家族で避難できるようにしたいです。（5年）

カテゴリ：学校関係者, 玉手箱, 原子力, 活動紹介2017

自然災害から人の命が守られる社会を目指し、  
わくわくする「防災教育」をきっかけに、  
よりよい未来を創る  
地域一体での共育社会の再建を目指します。

## NPO法人ふるさと未来創造堂

〒940-0034 新潟県長岡市福住3-4-39

Tel: 0258-94-6119

Fax: 0258-94-4582

Mail: info@furusato-mirai.com



Copyright(c) 2016 特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂. All Rights

Cookie ポリシー